

## ◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が4例(10歳未満男性・女性各1例, 30歳代男性・女性各1例)(第37週追加報告分 3例含む)あり, すべて感染地域は国内, 推定感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は19例となっています。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。

○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

- デング熱の報告が1例(20歳代男性)あります。症状は発熱・2日以上続く発熱・頭痛・白血球減少・血小板減少です。推定感染地域は国外(フィリピン)で, 推定感染経路は蚊媒介です。本年の累積報告数は5例となっています。
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が2例(70歳代女性1例, 80歳代男性1例)あります。2例とも推定感染地域は国内で, 本年の累積報告数は11例となっています。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が4例(80歳代男性2例・女性1例, 50歳代女性1例)(第37週追加報告分3例含む)あり, 本年の累積報告数は23例となっています。
- 梅毒の報告が2例(20歳代男性・女性各1例)(第37週追加報告分1例含む)あり, 本年の累積報告数は51例となりました。2例ともに感染地域は国内, 感染経路は性的接触です。重症化及び感染拡大を防ぐためには, 早期発見, 早期治療が非常に重要です。

京都市では, 平日昼間, 土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については, 下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

## ◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

- 今週の京都市のインフルエンザ報告数は1人でした。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 4例【1月以降の累積報告数 19例】
- 四類: デング熱 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- 四類: レジオネラ症(肺炎型) 2例【1月以降の累積報告数 11例】
- 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 4例【1月以降の累積報告数 23例】
- 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 51例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.51	151
	② RSウイルス感染症	1.84	79
	③ ヘルパンギーナ	1.12	48
	④ 手足口病	0.93	40
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.67	29
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

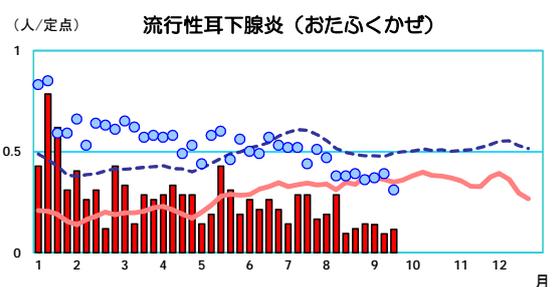
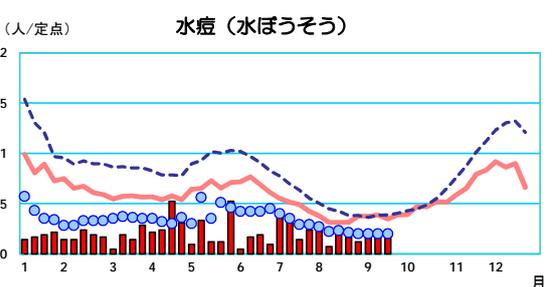
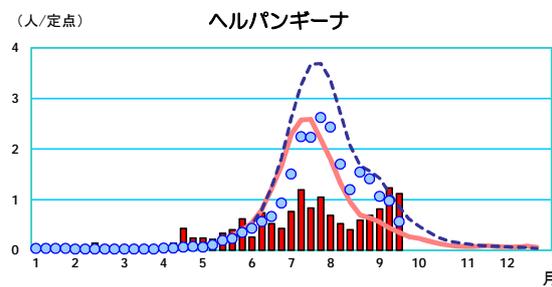
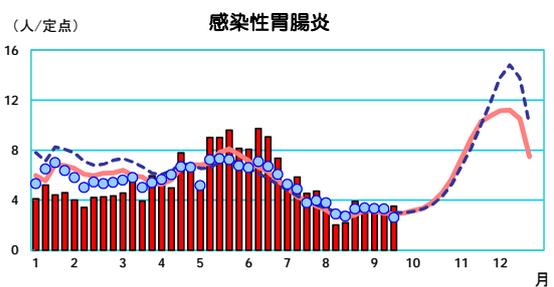
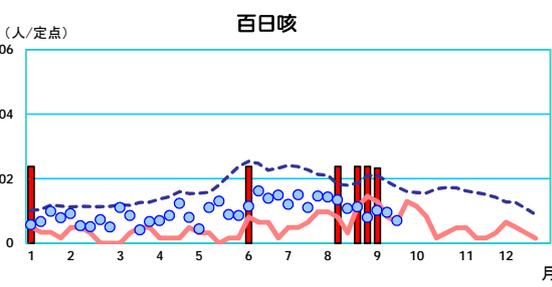
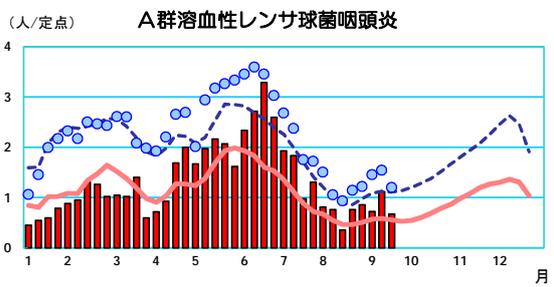
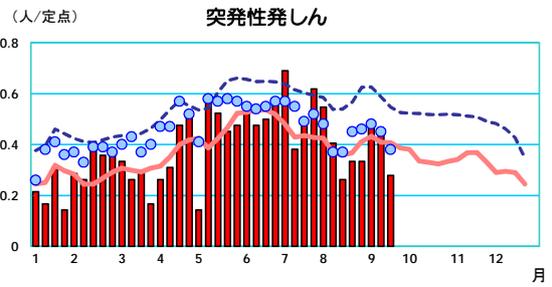
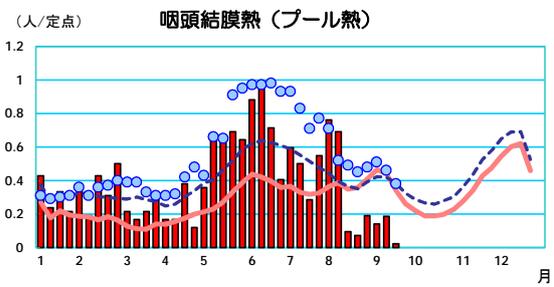
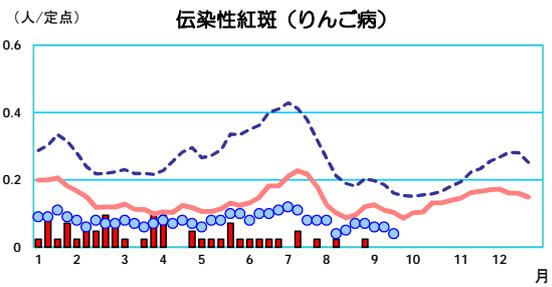
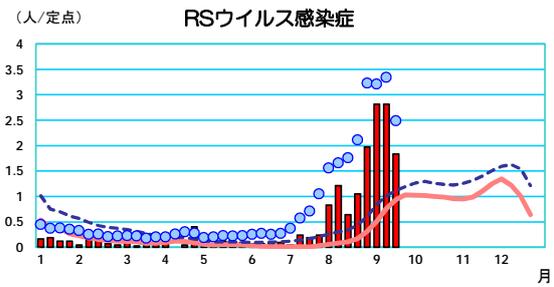
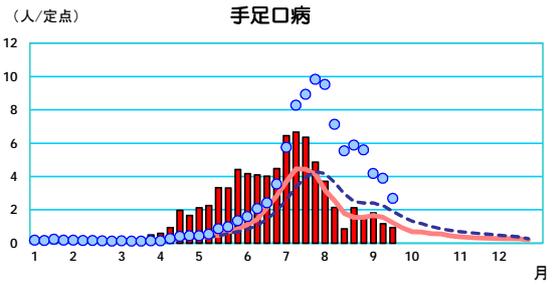
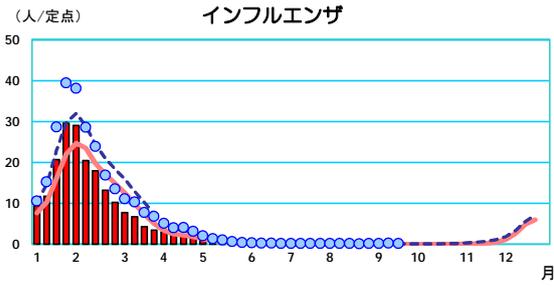
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成29年9月27日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



## 第38週(9月18日～9月24日)トピックス: <インフルエンザ>

今週の京都市のインフルエンザ報告数は1人でした。前週及び前々週は各2人であり、現状では流行の兆しは見られません(図1)。

全国の第38週の報告数は894人(定点当たり0.18)で、第37週の1,081人(同0.22)より減りました。しかし、11府県で前週よりも増えており、全国平均と比較するとかなり多い県も見られます(図2)。

過去5年の全国平均を見ると、定点当たり報告数が流行開始の目安となる1.0を超えるのはおおむね12月頃(図1)ですが、本年は第37週(9月)に福井県で1.0を超える(図2)など、例年より早い患者報告数の増加が見られる都道府県もあり、今後の動向に注意が必要です。

第37週には仙台市、名取市(宮城県)、川崎市、さいたま市、宇都宮市及び佐賀市で各1校が学級閉鎖になるなど、一部流行している地域があります。

インフルエンザの予防策としては手洗い、うがいなどの一般的な衛生行動が重要です。予防接種は10月中旬以降から始まります。

なお、インフルエンザワクチンは、そのシーズンに流行するインフルエンザウイルスの「型」を予測して作られており、約5箇月しか効果が持続しないため、毎年接種する必要があります。13歳以上の接種は1回または2回とされていますが、医師が特に必要とする場合を除いては1回でよいとされています。任意接種のため、費用は自己負担となります。接種の詳細はかかりつけの医療機関でご相談ください。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

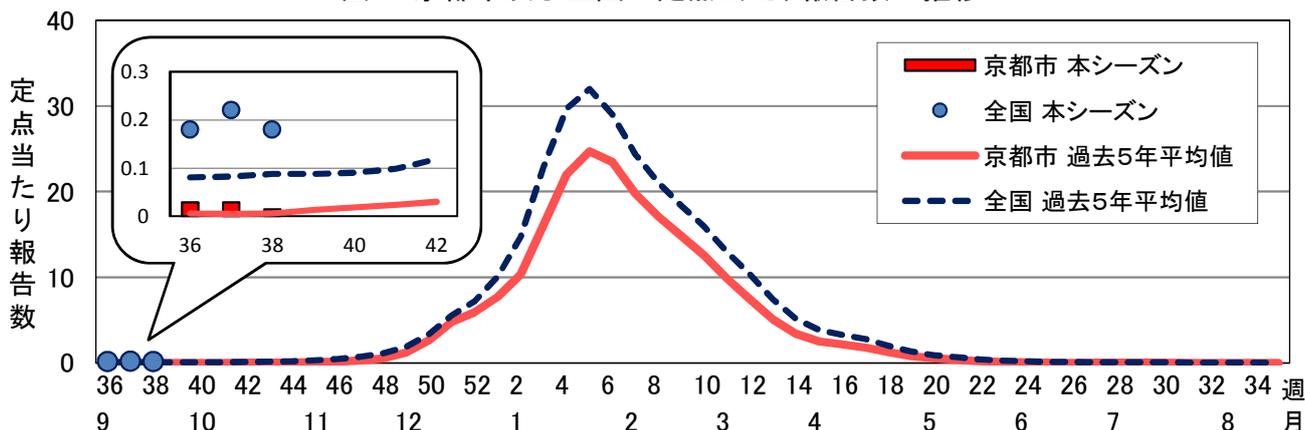
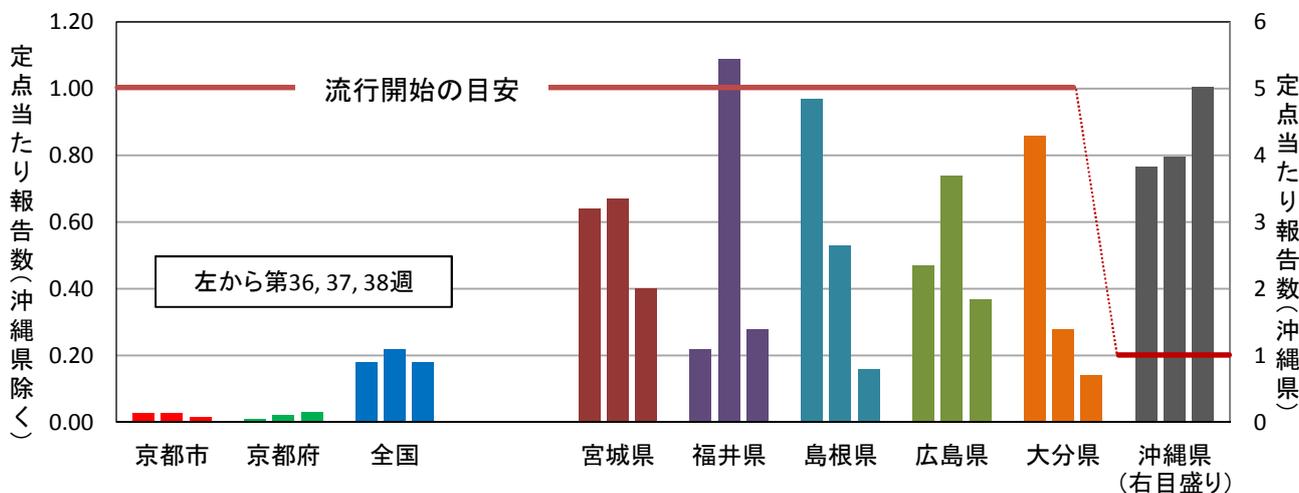


図2 過去3週の定点当たり報告数の推移(比較的報告数の多い県)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第38週

疾病,行政区別報告数

平成29年9月18日～平成29年9月24日

データ入手日:平成29年9月27日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計																			
北	1	3	-	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-	2					
上京	-	3	-	1	5	-	3	-	1	-	3	1	-	-					
左京	-	11	-	6	65	-	6	-	1	-	-	1	-	3					
中京	-	4	-	-	6	-	6	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	4	-	-	13	-	1	-	-	-	1	-	-	-					
山科	-	20	-	-	1	1	-	-	4	-	8	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-					
南	-	3	1	2	11	-	2	-	2	-	15	-	-	-					
右京	-	14	-	9	14	2	8	-	2	-	5	1	-	1					
伏見	-	7	-	5	19	4	10	-	2	-	13	-	-	-					
西京	-	10	-	6	15	-	2	-	-	-	-	2	-	-					
京都市計	1	79	1	29	151	7	40	-	12	-	48	5	-	6	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計																			
北	0.14	0.75	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	0.25	-	-	2.00					
上京	-	1.00	-	0.33	1.67	-	1.00	-	0.33	-	1.00	0.33	-	-					
左京	-	2.75	-	1.50	16.25	-	1.50	-	0.25	-	-	0.25	-	3.00					
中京	-	1.33	-	-	2.00	-	2.00	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2.00	-	-	6.50	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-					
山科	-	4.00	-	-	0.20	0.20	-	-	0.80	-	1.60	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-					
南	-	1.00	0.33	0.67	3.67	-	0.67	-	0.67	-	5.00	-	-	-					
右京	-	2.80	-	1.80	2.80	0.40	1.60	-	0.40	-	1.00	0.20	-	1.00					
伏見	-	1.00	-	0.71	2.71	0.57	1.43	-	0.29	-	1.86	-	-	-					
西京	-	2.00	-	1.20	3.00	-	0.40	-	-	-	-	0.40	-	-					
京都市計	0.01	1.84	0.02	0.67	3.51	0.16	0.93	-	0.28	-	1.12	0.12	-	0.60	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第38週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年9月18日～平成29年9月24日

データ入手日:平成29年9月27日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	79	6	21	28	14	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		29	-	-	-	4	3	5	3	4	-	-	1	4	-	5	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		151	3	13	24	12	11	11	7	6	5	9	5	17	6	22	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	-	1	1	-	1	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		40	-	3	21	5	3	1	2	-	-	1	1	1	1	-	2	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		12	-	3	6	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		48	1	4	16	10	5	3	1	4	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		5	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	6	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	2	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	1.84	0.14	0.49	0.65	0.33	0.19	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.67	-	-	-	0.09	0.07	0.12	0.07	0.09	-	-	0.02	0.09	-	0.12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		3.51	0.07	0.30	0.56	0.28	0.26	0.26	0.16	0.14	0.12	0.21	0.12	0.40	0.14	0.51	-	-	-	-	-	-
水痘		0.16	-	-	0.02	0.02	-	0.02	-	0.02	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.93	-	0.07	0.49	0.12	0.07	0.02	0.05	-	-	0.02	0.02	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.28	-	0.07	0.14	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.12	0.02	0.09	0.37	0.23	0.12	0.07	0.02	0.09	-	0.02	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.12	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.60	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.30	0.20	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第38週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年9月27日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		5	8	8	2	2	1
RSウイルス感染症		27	44	83	121	121	79
咽頭結膜熱		4	3	8	6	8	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		15	32	37	31	48	29
感染性胃腸炎		92	164	133	149	146	151
水痘		9	7	5	9	7	7
手足口病		36	89	64	78	50	40
伝染性紅斑		-	-	1	-	-	-
突発性発しん		11	14	18	20	19	12
百日咳		-	1	1	1	-	-
ヘルパンギーナ		17	25	30	35	53	48
流行性耳下腺炎		4	5	6	6	4	5
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		2	8	9	10	8	6
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		222	400	403	468	466	379

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.07	0.12	0.12	0.03	0.03	0.01
RSウイルス感染症		0.64	1.05	1.98	2.81	2.81	1.84
咽頭結膜熱		0.10	0.07	0.19	0.14	0.19	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.36	0.76	0.88	0.72	1.12	0.67
感染性胃腸炎		2.19	3.90	3.17	3.47	3.40	3.51
水痘		0.21	0.17	0.12	0.21	0.16	0.16
手足口病		0.86	2.12	1.52	1.81	1.16	0.93
伝染性紅斑		-	-	0.02	-	-	-
突発性発しん		0.26	0.33	0.43	0.47	0.44	0.28
百日咳		-	0.02	0.02	0.02	-	-
ヘルパンギーナ		0.40	0.60	0.71	0.81	1.23	1.12
流行性耳下腺炎		0.10	0.12	0.14	0.14	0.09	0.12
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.20	0.80	0.90	1.00	0.80	0.60
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		5.39	10.06	10.21	11.63	11.43	9.27

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。